

「来客用下駄箱に靴べらスタンドを設置しました」

(高等部木竹工芸班)

このたび、おかやま森づくり県民税を活用した「木の潤い環境整備事業」により、事務室前に来客用下駄箱及び陳列戸棚の整備が行われたことを受け、これらの木製調度品に馴染むよう、真備地域の特産である竹の端材等を用いて靴べらと専用スタンドを作製しました。

材料は、地元の家具メーカーである株式会社テオリ様より実習用に提供いただいた孟宗竹のほか、一部は平成30年の豪雨災害で生じた廃材を利用しています。山田澄夫先生（高校エキスパート）の指導を受けながら、丁寧にニスを塗ってきれいに仕上げました。ご来校の際は是非ともご覧ください。



